

# Continental



1935～40年、ドイツグランプリで連続4回優勝を飾るなど、メルセデスやオートユニオンがコンチネンタル社のレース用タイヤを履いて目覚ましい活躍をした



自動車が生産する15年前の1871年、前身のコンチネンタル弾性ゴム グツタベルヒヤ社が創業を開始した

2006年のドイツ大会に続いて、2010年のFIFA World Cup 南アフリカ大会のオフィシャルスポンサー契約を締結

コンチネンタルタイヤは、より安全な走行を実現するために、タイヤ単体の性能だけではなく、自動車のあらゆる電子デバイスと連動して開発されている



コンチネンタルタイヤは、より安全な走行を実現するために、タイヤ単体の性能だけではなく、自動車のあらゆる電子デバイスと連動して開発されている

## 「安全・快適・環境」に貢献したモビリティに貢献

コアコンピタンス（核となる圧倒的に優位な分野）、テクノロジー（製品づくり）、サービスを通じて、より安全で、より快適で、環境に適合したモビリティに貢献するというのがコンチネンタル社のビジョン。

なかでも、環境保護に對して果たす企業の責任は大きい。走行抵抗最適化タイヤ、ピエゾ噴射バルブ、ハイブリッドドライブ、シートベルトシステムなどのCO<sub>2</sub>削減に向けた技術

研究、製造開発過程における施設の環境に与える影響の削減、天然ゴムや植物油など再生可能な原料を使用することで再生不能の自然資源保護を持続的に展開している。

こうした一連の取り組みは、人と自動車が賢く付き合う社会を築くためのモビリティ・マネジメントの重要な一要素であり、自動車業界における時代の大きな流れを担うコンチネンタル社の証でもある。

## 2グループ・6部門の強力なビジネスユニット

1871年にドイツハノーバーで創業して以来、コンチネンタル社のタイヤは、一世紀以上にわたり世界のカーメーカーに認められ、走りを支えてきた。世界初のトレッドパターン付き自動車用タイヤを開発するなど、自動車の進化と共に信頼を重ね、世界36カ国に2000を超える拠点と、約15万人の従業員を擁し、グローバルな展開を推進している。

現代のタイヤに求められるのは、タイヤ自体の性能だけでなく、複雑化するオートモティブシステムに対応した性能。そこでコンチネンタル社は、3つのタイヤ部門を統括するラバー・グループに加えて、シャシー&セーフティー、パワートレイン、インテリアの3部門を統括するオートモティブ・グループを設置、2グループ・6部門の強力なビジネスユニットを確立して性能の更なる向上を目指している。

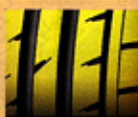
# コンチネンタル……もつとも信頼できる自動車システムのパートナーを目指して

# 今ある最高のタイヤから、新世代のタイヤへ！ コンチネンタルのテクノロジー



## ■非対称リブパターン

ブロック剛性を高めたアウト側のパターンは、コーナリング時に高い安定性を発揮。横方向の広い溝を持つイン側のパターンは、ハイドロブレーションの防止に有効的。



## ■3Dグループ

急勾配な角度と緩やかな角度を持ったグループを採用することで、路面との接地性と排水効率の向上を実現。結果、ウェット&ドライでのハイレベルなハンドリング性能を実現している。



## ■フラットベルトコンセプト

ベルトをサイドウォール近くまでフラットに入れることにより、高速走行時でも均等な接地圧が得られ、偏摩耗を抑制してくれる。



## ■クーリンググループ

ブロックに細かい溝を入れ、タイヤの熱を素早く放出・消散させることで、超高速域での走行を可能にしている。



また、リブをメインとする基本パターンと余分なパターンデザインとの減少が、トレッド面の優れた剛性などを確保するとともに、各カテゴリーのクルマに合わせたコンパウンドの自由度をも獲得。  
発達・制動時の大きな荷重を接地面を広げることで、路面に確実に力を伝達するバイオニック・プロファイル（キャッツ・ボイ）。大きな荷重に対し、トレッドの剛性を保ちながら効果的に接地させ、高速走行の操縦

グルーブ内にクルマの電子デバイスに関する開発部門を持つコンチネンタルは、今やどのクルマにも採用されるABSや、4輪のブレーキコントロールによる姿勢制御（横滑り防止など）などの電子デバイスと、タイヤの相関関係を徹底的に研究。スポーツカーからSUVまで、それぞれのタイヤに求められる走行安定性や安全性など、最高のパフォーマンスを引き出すべく開発。結果、高剛性リブパターンや非対称リブパターンをメインにした、ひとつの基本パターンに行き着いたのだ。

コンチネンタルのタイヤには大きな特徴がある。コンチスポーツコンタクト3などのトップパフォーマンスタイヤから、安全性やエコロジーが追求されたコンチエココンタクトシリーズ。そして、SUV用のコンチ4x4スポーツコンタクトにいたるまで、そのトレッドパターンが非常に似ていることだ。

## 世界最速 360km/h 承認タイヤ ContiSportContact™ Vmax



最高速度 360km/h 走行承認の、公道走行可能な市販用超ハイパフォーマンスタイヤ。ハイパフォーマンススポーツカーには、その技術が継承されるコンチスポーツコンタクト3が用意されている。

## 安全とエコロジーの両立を目指したタイヤ ContiEcoContact™ 3



リブ基本パターンの非対称トレッドパターンと新ポリマーコンセプトの採用により、優れたコーナリング性能とウェット性能を両立する。同時に、ブレーキング時の優れた制動力とエコロジーさをも発揮するモデル。

安定性とブレーキング時のグリップ力を高めるバイオニック・シリカコンパウンド（スパイダース・ウェーブ）。  
といったコンチネンタル独自の最先端技術、3Dグループやフラットベルトコンセプトなどにより、最新鋭のクルマのパフォーマンスさえも最大限に引き

## 氷雪路走行用のスタッドレスタイヤ ContiVikingContact™ 5



凍結路面のみならず、積雪路面でのブレーキングやトラクション、コーナリングなどで卓越した性能を発揮する。欧州でも特に気候の厳しい地域で使用されるモデルを、日本の氷雪路走行に合わせて設計。

## 雪上+低温時の走行性能を重視したタイヤ ContiWinterContact™ TS810S



氷雪路面とドライ路面でのハンドリングを高次元で両立。メルセデス・ベンツやBMW、ボルシェなどの欧州メーカーから承認を受ける高性能ウインタータイヤ。欧州では冬の定番タイヤとなっている。

出す、新世代のタイヤを生み出しているのだ。  
さらに、コンチネンタルのタイヤはケブラーなどの新素材を積極的に採用することで、クルマの軽快な走りや優れた静粛性、乗り心地の向上を果たすべく、軽量に仕上げられている点も見逃せない。